

2023年度 事業報告書

2023年4月1日から 2024年3月31日まで

特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所

1 事業の成果

2012年10月10日の開館以降、2024年3月31日時点で延べ80,455名が訪れている。2023年度は、5,252名にご来館いただいた。

松江市からの受託事業である中村博士の蔵書整理事業については、2024年度は4,073点の資料を登録。通算登録数は30,596冊となり、順調に作業を行った。

また、蔵書以外の資料(日記、原稿、メモ、写真、書簡など)についても、一般の博物館の資料登録方法に加え、中村元博士独自の資料分類などについて調査を進め、丁寧に登録作業を行った。専門家の指導を仰ぎながら、蔵書以外の資料についても適切な保存・管理につとめている。

年間を通して、東方学院松江校、中村元記念館文化講座あわせて24講座を開講し、延べ116名が受講。ハイブリッド講義をスムーズに行うため機材を充実することにより、受講環境を整えることができ、対面受講者、オンライン受講生ともにストレスのない講座運営ができた。

また、今年度はコロナウイルス感染症蔓延のため長らく休止していた文化カフェを再開。研究員の活動も活発化した。

昨年度は6つの企画展を開催し、中村元博士の業績の顕彰に努めた。

大学連携事業も、東京大学、島根大学学生が来館。また、東京大学副学長が来館し、地域連携プロジェクトについて協議を行った。

SNSでの企画展紹介などを充実させ広報に力を入れた。また、ショップ販売用の専門書籍の充実を図り、文化の普及に努めた。

国際文化交流事業としては、昨年度はインド国大使、総領事の来館をはじめ、インドのPCCOE工科大学学生との交流事業なども行うことができた。

地域連携事業としては、地元の小中学校(八束学園)への出張授業や、読み聞かせ事業、見学受け入れなどで交流を深めることができた。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施事業の 日時・場所、 従事者の人数	受益対象者 の範囲 及び、人 数、評価	事業費の 金額 (単位：千円)
故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営	1. 中村元博士蔵書整理事業 2. 中村元記念館管理・運営		別紙参照	15,976
東洋思想・文化に係る研究、講座、イベントなどの実施	1. 中村元記念館各種講座の運営 2. 研究員による研究活動 3. 企画展 4. 中村元東洋思想文化賞 5. 大学連携事業		別紙参照	4,761
東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業	1. 出版事業 2. 博物館/施設との連携 3. メディア対応 4. その他広報活動 5. ミュージアムショップ運営		別紙参照	476
国際文化交流事業	1. アジア文化紹介事業		別紙参照	42
地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業	1. 地域・行政との交流事業 2. 子ども教育事業 3. 旧八束教員住宅(通称)「はじめハウス」の利活用		別紙参照	458

3 会議に関する事項

(1) 理事会

◆第1回 理事会（開催年月日 2023年5月20日）

開催場所 中村元記念館 応接室

出席者数 14名（うち表決委任者 9名）／ 理事人数 14名

議決事項の概要

第1号議案 2022年度 事業報告に関する件

第2号議案 2022年度 決算報告 および 監査報告に関する件

第3号議案 2023年度 事業計画に関する件

第4号議案 2023年度 予算に関する件

第5号議案 役員を選任について

第6号議案 役員報酬支給額について

その他 報告事項 中村元記念館開館10周年記念事業について

◆第2回 理事会（開催年月日 2023年6月1日）

開催場所 中村元記念館 応接室

出席者数 13名（うち表決委任者 8名）／ 理事人数 13名

議決事項の概要

第1号議案 理事長 副理事長の選任について

(2) 総会

◆総会（開催年月日 2023年 5月25日）

開催場所 中村元記念館 応接室

出席者数 18名（うち表決委任者 12名）／正会員数 19名

議決事項の概要

第1号議案 2022年度 事業報告に関する件

第2号議案 2022年度 決算報告 および 監査報告に関する件

第3号議案 2023年度 事業計画に関する件

第4号議案 2023年度 予算に関する件

第5号議案 役員を選任について

第6号議案 役員報酬支給額について

その他 報告事項 中村元記念館開館10周年記念事業について

特定非営利活動法人

中村元記念館東洋思想文化研究所

2023 年度 事業報告書



中村元記念館


Nakamura Hajime
Memorial Hall
नाकासुरा हाजीमे स्मारक मनागृह

内容

▽2023年度 事業報告	5
I 全体報告	5
(1) 入館者数	5
II 個別事業報告	6
(1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営	6
(2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施	7
(3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業	11
(4) 国際文化交流事業	14
(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業	14

▽2023 年度 事業報告

I 全体報告

(1) 入館者数

2012年10月10日の開館以降、2024年3月31日時点で延べ80,455名が訪れている。

2023年度は、5,252名にご来館いただいた。

なお、9月の入館者数については、カウンターに不具合が生じていたため実際の来館者数よりも少ない数字になっている（展示品の反射によってレーザーが正確に読み取れない事象が発生していた）。

魅力あるイベントや企画展示を行うことで来館者の増加につなげていきたい。

月別入館者数

月	2022年度 入館者数（人）	2023年度 入館者数 （人）	対前年比（%）
4月	418	499	119
5月	580	472	81
6月	472	659	140
7月	333	480	144
8月	367	346	94
9月	468	273	58
10月	834	684	82
11月	760	545	72
12月	397	374	94
1月	0	0	0
2月	375	368	98
3月	630	552	88
合計	5,634	5,252	
月平均	470	438	
累計	75,203	80,455	

Ⅱ 個別事業報告

(1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営

1. 中村元博士蔵書整理事業(松江市より受託)

事業の目的	松江市から委託された中村元博士の蔵書を整理・公開することで、松江市の歴史的財産として保存するとともに、研究者の利用のみならず、一般の来館者の皆様にも広く観覧していただく。
実施期間	通年
実施人数	職員:6名、ボランティア のべ41名
事業内容	<p>■蔵書整理・登録</p> <ul style="list-style-type: none">・2014年度に導入した図書管理ソフト GANGA と NACSIS 接続ソフト MILAGRO により、国立情報学研究所が運営する総合目録データベース(NACSIS-CAT)を利用し、自館と NACSIS-CAT への登録を実施。・2023年度は、図書 2,403 冊、雑誌 1,670 冊、合計 4,073 冊の登録を完了した。(通算登録冊数:30,596 冊)。 <p>■蔵書の公開</p> <ul style="list-style-type: none">・記念館の OPAC(オンライン蔵書検索システム)登録による公開と、常設展示、企画展等で順次公開。 <p>■資料登録・整理作業</p> <ul style="list-style-type: none">・2023年度の中村博士の蔵書整理は、博士が独自に分類されている収蔵品の中に挟まれている蔵書(資料)を抜き出し、その蔵書をどこから抜き出したのかを記録を取りながら登録をおこなった。抜き出す蔵書の中には、一枚物の新聞の記事や、薄い抜き刷りの冊子等が多くあり、見つけ出す作業が難航した。また、これらの蔵書は NACSIS-CAT にデータベースがないものがほとんどの為、一から書誌を作成する必要があり、一つ一つデータを確認して慎重に登録を進めた。収蔵品の中に挟まれた資料は破損の激しいものも多数あり、中性紙に包みながら登録する必要があったため時間を要した。・2024年度も収蔵品の中に挟まれた蔵書を見つけ出し、その蔵書がどの資料と一緒に保管されていたのかをしっかりと記録を取りながら作業を進めていく必要がある。NACSIS-CAT にデータベースがない蔵書の登録(一から書誌を作成する必要がある蔵書)をすることに加え、

	切り取られた新聞や雑誌の記事などは、出所から調べる必要がある為 1冊の登録に要する時間が増える見込みである。
--	---

2. 中村元記念館管理・運営事業

事業の目的	中村元博士の業績を広く一般の人に顕彰する。 記念館運営を滞りなく行うための事業。
実施期間	通年
実施人数	職員・スタッフ:7名(通年)
事業内容	<p>■団体見学 6回 参加人数:113名(学芸員解説) 個人、市内の社協・仏教会等の団体への館内説明を行った。</p> <p>■研修参加 「DynaMicFair2023 セミナー」7月4日(火)15:30～ インボイス&電子帳簿保存法 2023年に取り組みが必要な 「3つのポイント」(スタッフ2名参加)</p> <p>■消防・避難訓練 第1回 9月28日(合同避難訓練)職員 5名参加 第2回 3月12日 消火設備訓練 6名参加</p>

(2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施

1. 中村元記念館各種講座の運営(東方学院松江校 中村元記念館文化講座)

事業の目的	「東洋思想の世界的権威」である中村元博士の私塾「東方学院」の理念を継承すべく「東方学院松江校」・「中村元記念館文化講座」を開講する
実施期間	2023年4月1日～2024年3月31日
実施人数	職員:6名(通年) 講師:23名
事業内容	<p>■今年度の講義は当初東方学院松江校、中村元記念館文化講座を合わせて24講座を開催した。*のべ受講申込者数:116名 (開催講座数) (講義回数減の講義も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東方学院松江校 17講座 ・中村元記念館文化講座 7講座

	<p>■オンライン講座</p> <p>事前に ZOOM 操作の練習を個別に行うなど丁寧に対応した。また、令和 5 年度しまね社会貢献基金寄付者設定テーマ事業の補助金を利用し、双方向対話が可能なオンラインシステム形成の為にハイブリッド機材を購入し、対面受講・オンライン受講の両方がストレスのない設備・環境を整えた。</p>
--	--

2. 研究員による研究活動

事業の目的	<p>中村元記念館東洋思想文化研究所研究員:10名。 故中村元博士が開拓された学問の道を探求し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的として、研究活動を行っている。</p>
実施期間	通年
実施人数	研究員 10名
事業内容	<p>■「中村元思想文化カフェ」の実施</p> <p>研究活動報告の場として、所属研究員による「中村元思想文化カフェ」を実施した。令和5年度は2回開催し、研究員の関心や企画展の内容に沿った講演など、毎回異なるテーマを設定した。実施内容については、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆第17回 令和5年9月16日(土)10:30～12:00 島田隆輔 「ふたたび宮沢賢治と、青柳亮[松江の人]と。」 * 記念館司書によるブックトーク ◆第18回 令和5年12月9日(土)10:30～12:00 「収蔵品展解説:未公開自筆原稿から迎える中村元博士の著作」 * 記念館学芸員 <p>■研究員による講座実施 4講座</p> <p>■研究員による書籍発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○浅川滋男 <ul style="list-style-type: none"> ・「居場所とマイノリティ ブータンとウクライナ、そして過疎社会」 ASALAB 報告書第41輯 浅川滋男編 公立鳥取環境大学保存修復スタジオ 2023.3.31 ・「アシ・ツォメン:湖のマーメイド」 ASALAB 報告書第42輯 浅川滋男編 公立鳥取環境大学保存修復スタジオ 2024.3.31 <p>■研究員による学術誌・定期刊行物執筆</p>

	<p>○島田隆輔</p> <p>・『論攷宮沢賢治』第 20 号 2023.3.31 「文語詩集の生成/覚え書き」</p>
--	--

3. 企画展の開催

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・中村元博士とのつながりが深いインド国に協力し水彩画展を開催。 駐日特命全権大使 シビ・ジョージ閣下、在大阪・神戸インド総領事 ニックヒレッシュ・チャンドラ・ギリ氏のご臨席のもと、開催を記念したセレモニーを開催 ・インドの文化を紹介する写真展の開催。 ・中村元記念館に収蔵する博士の蔵書、資料などの公開を目的とし、展示を行い中村元博士の業績、人となりを広く顕彰する。 ・蔵書整理のための、記念館の休館中に松江市立図書館に場所を借り、中村元博士の業績を紹介する出張展示を行った。
実施期間	下記のとおり
実施人数	職員 6 名他
事業内容	<p>①企画展「中村元博士と松江」 *博士の故郷・松江とのつながりについての展示 期間：2023年3月1日（水）～6月18日（日）</p> <p>②原田繁昭 水彩画展 インド独立 75 周年記念「魅惑インド」 主 催：在大阪・神戸インド総領事館 協 力：中村元記念館 期間：2023年6月27日（火）～7月2日（日）</p> <p>③中村元記念館 収蔵品展 中村元博士 インドへの旅路～ 写真家・三井昌志氏の捉えた『インド』の姿と共に～ 期間：2023年7月11日（火）～9月24日（日）</p> <p>④中村元記念館 収蔵品展 『中村元博士の著作ができるまで～未公開自筆原稿から辿る～』 期間：2023年10月3日（火）～12月27日（水） 展示にあわせて、第 18 回中村元思想文化カフェを行い、収蔵品解説をした。（12月9日（土）10:30～12:00）</p> <p>⑤松江市名誉市民 中村元博士についての功績等の展示 展示場所：松江市立中央図書館玄関展示ケース 担当：松江市文化振興課施設管理係 期間：2024年1月4日（水）～1月25日（木）</p>

	⑥中村元記念館 収蔵品展（第2弾） 『中村元博士の著作ができるまで～未公開自筆原稿から辿る～』 期間：2024年2月6日（火）～6月30日（日）
--	--

4. 中村元東洋思想文化賞

事業の目的	連携大学を含む全国の国公立及び私立大学100校を対象に、大学生・大学院生の優れた論文を広く顕彰し今後の研究を奨励することを目的とする
実施期間	授賞式 2023年10月28日
実施人数	職員6名他
事業内容	<p>東洋思想を学ぶ学生による学士論文、修士論文を中村元記念館の会場から、ハイブリッドによるオンラインの同時配信して表彰した。授賞式は松江市 山根幸二副市長ご臨席の元、優秀賞、松江市長賞、奨励賞を授与し、賞状と盾、学術奨励金の他に記念品が贈られた。</p> <p>■優秀賞 伊藤 有佑(いとう・ゆうすけ)氏(東京大学大学院) 「菩提分法の研究——パーリ注釈文献を中心にして」</p> <p>■松江市長賞 田 得霖(でん・とくりん)氏(名古屋大学大学院) 「徳川後期における「形而上学的共和国」の源流 ——横井小楠と元田永孚の儒学的視座から」</p> <p>■奨励賞 小貫 稜(おぬき・りょう)氏(中央大学) 「鈴木大拙『日本的靈性』の成立についての一考察 —1940年代の西谷啓治の思想との比較で—」</p>

5. 大学連携事業

事業の目的	インド哲学や仏教学を学べる大学や、近隣の大学、大学院と連携することで、高等教育の場で、記念館を活用していただくことを目的とする
実施期間	下記の通り
実施人数	職員 スタッフ6名ほか、連携大学ほか
事業内容	<p>■武蔵野大学 丸井 浩先生とその科研メンバーによる中村元記念館資料調査と、オンライン報告会の実施。 日程:2024年3月5日</p> <p>■東京大学 学生館内見学 日程:2023年9月4日</p> <p>■島根大学フィールドワーク団体見学 日程:2023年10月15日</p>

	<p>■東京大学（文学部との地域連携プロジェクトの為） 東京大学秋山聰副学長ほか2名ご来館 （東京大学加藤隆宏先生同席） 日程:2023年11月24日</p> <p>■連携大学の事業紹介を行った ポスター掲示、パンフレット、チラシの配架など</p>
連携先	大正大学、立正大学、佛教大学、島根大学、島根県立大学、東京大学(インド哲学仏教学研究室)、東洋大学、武蔵野大学、龍谷大学、大谷大学

（3）東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業

1. 出版事業

事業の目的	中村元博士の業績やその理念を広く顕彰する
実施期間・人数	通年 職員6名
事業内容	<p>■「慈しみの心」山陰中央新報社 編集協力</p> <p>■中村元記念館通信発行 第17号、18号発行</p>

2. 博物館/施設との連携

事業の目的	広く全国の方へ東洋思想・哲学を普及するため、哲学者を顕彰する全国の施設と連携し普及活動を推進
実施期間・人数	通年 職員6名
事業内容	<p>■連携協定を結んでいる「史跡足利学校」ほか、石川県金沢市「鈴木大拙館」、石川県かほく市「石川県西田幾多郎記念哲学館」をはじめ、古代出雲歴史博物館など近隣の博物館や美術館などとはパンフレット・ポスターの掲示など広報についての連携を継続中。</p>

3. メディア対応

事業の目的	中村元博士、記念館の紹介、博士の業績の顕彰などのため、各種媒体、メディアへの取材対応、記事掲載依頼を行った
実施期間・人数	通年 職員・スタッフ6名
事業内容	<p>①新聞記事掲載（「慈しみの心」）</p> <p>・山陰中央新報『第1面「慈しみの心」毎日掲載</p>

②新聞記事掲載

【山陰中央新報】

- ・「慈しみの心」除く新聞記事掲載
- ・山陰中央新報 情報BOX 企画展・イベント情報掲載
 - ・りびえーる（山陰中央新報）企画展情報掲載
- ・中村博士の松江愛「中村元博士と松江」展示紹介（2023/4/7）
- ・中村博士が拝んだ仏を描く 原田繁昭水彩画展「魅惑インド」（2023/6/28）
- ・インド描いた水彩画展 駐日大使訪れ鑑賞(2023/7/1)

【朝日新聞】

- ・松江出身インド哲学 記念館で収蔵品展
中村元著作をたどる(2023/12/13)

③八束公民館だより

【八束のひろば 第28号～30号】

- ・中村元博士が残した『慈しみあふれる言葉』を紹介します
⑩～⑫

④市報松江(4・5・8・9・10・11・12・2月号)

- ・中村元記念館開館10周年記念企画展「中村元博士と松江」
- ・2023年度東方学院松江校・中村元記念館文化講座
- ・収蔵品展「中村元博士インドへの旅路
～写真家・三井昌志氏の捉えた『インド』の姿と共に～」
- ・第17回中村元思想文化カフェ
- ・収蔵品展「中村元博士の著作ができるまで」
- ・集中講義『『歎異抄』を通して学ぶ浄土真宗入門』
- ・第18回中村元思想文化カフェ
- ・収蔵品展「中村元博士の著作ができるまで」第2弾

⑤テレビ取材

- ・原田繁昭 水彩画展開催案内…
【放映】6/23 18時～マーブルテレビ
- ・第8回中村元東洋思想文化賞授賞式…
【放映】10/29 11時半 ストレイトニュース
- ・第8回中村元東洋思想文化賞授賞式…
【放映】マーブルテレビ

4. その他広報活動

事業の目的	中村元記念館及び東洋思想に興味を持っていただくため、チラシやパンフレットだけでなく、ホームページやブログ、フェイスブック・X(旧 Twitter)など様々な媒体を通じて情報発信を行った。
実施期間・人数	通年 職員 6 名
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・記念館紹介パンフレットの配布(約 300 部)・ご支援のお願いのパンフレット配布(約 1000 部)・ホームページの運営(講座・イベント情報等適宜発信中)・メールマガジンの発行 No150～No171(22 回)・フェイスブックの運営(42 回更新)・HP/ブログの運営(28 回更新)・X(旧 Twitter)配信(72 回) 2023 年度から、X で定期的に展示物紹介を行うようになり、順調にフォロワー数を増やしている。

5. ミュージアムショップ運営

事業の目的	一般書店では手に入りにくい中村元博士の著作、東洋思想、仏教関連書籍など、専門書籍を幅広く取りそろえ、来館者の知へのニーズを満たす。 記念館オリジナルのお土産提供による、来館者満足度の向上
実施期間・人数	通年 職員 6 名
販売グッズ	中村元博士の著作をはじめ、広く哲学、東洋思想等を取りそろえ、一般の書店では手に入りにくい専門書籍を充実させた。 出版社の協力もあり、現在、DVD など映像資料なども併せると 500 種を超える品揃えとなっている。 ポップや、陳列方法、新書を入荷した際は、SNS 等で情報を発信する等購買意欲をそそるよう工夫した。

(4) 国際文化交流事業

1. アジア文化紹介事業

事業の目的	中村元記念館の認知度向上や、新規来館者の獲得を目的とし、広く一般の方を対象に中村元博士が研究されたアジア地域について紹介し、文化的な交流を促進する。インドとの交流を深める。
実施期間・人数	通年 職員 6 名
事業内容	<p>■インド大使・領事来館視察（歓迎セレモニー開催） 実施日：2023 年 6 月 30 日 駐日特命全権大使 シビ・ジョージ閣下、 在大阪・神戸インド総領事 ニックヒレッシュ・チャンドラ・ギリ氏 ＊原田繁昭 水彩画展 インド独立 75 周年記念 「魅惑インド」＊オープニングセレモニー同時開催</p> <p>■インドの PCCOE 学生研修グループご来館 実施日：2023 年 7 月 29 日</p>

(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業

1. 地域・行政との交流事業

事業の目的	行政、民間、地元八束町の要望に沿った交流事業を実施し、中村元と記念館を知っていただく契機とする。
実施期間・人数	通年 職員 6 名
事業内容	<p>■第 11 回中村元記念館杯八束町、世代間交流 GG 大会の開催協力 実施日：6 月 7 日 八束町グラウンド・ゴルフ協会主催</p> <p>■八束公民館 掲示板 中村元博士が遺した「慈しみあふれる言葉」紹介事業への協力</p> <p>■公民館だよりへの取材・執筆協力</p> <p>■島根半島。宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進校議会 ジオカード配布協力</p>

	<p>■八束学園児童 謎解き島めぐり 主催:松江市役所八束支所 実施日:11月18日</p>
連携先	松江市役所八束支所・八束公民館、松江北商工会、 八束町内の自治会・松江観光協会など

2. 子ども教育事業

事業の目的	中村博士の業績を知ること、郷土への誇りを持っていただく。博士の思想「慈しみ」の心にふれてもらうことで、小中学生の情操教育に役立てる。また、高校生・大学生にも自習室を解放し利用してもらう。
実施期間・人数	通年 職員6名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学生職場体験 (1名) 実施日:9月28日、9月29日 ■ 自習室の開放 記念館の静かな環境で、勉強や読書を行ってもらえるよう、小・中・高・大学生に自習室を解放した。 図書閲覧室での自習利用多数 ■ さるすべりコーナーでの文化紹介本の設置 ■ 八束学園へ出張講座など <ol style="list-style-type: none"> (1) 中村元博士についてのお話と読み聞かせ 実施日:11月22日、11月28日 博士と記念館についての説明と、博士が研究したインドのことを知ることができる児童書の読み聞かせを、記念館の学芸員が行った。 (2) 中村元記念館出張講座 「アジアの音楽に親しもう みんなで楽しく楽器遊び」 実施日:2024年1月31日、2月1日 協力:中村元記念館文化講座講師 瀬古 康雄先生 民族楽器(インドのシタール、中国の揚琴ヤンチン他)を鑑賞し、実際に鳴らしてアジアの音楽、文化に親しめる授業を行った。 ■ 中村元記念館見学 実施日:2023年11月28日 八束学園6年生

4. 旧八束教員住宅(通称「はじめハウス」)の利活用

事業の目的	中村元記念館および利用者の行う会議、研究、宿泊、イベントなどで活用することです。ことで、周辺地域の活性化を促進する。
実施期間・人数	通年 職員 6 名
事業内容	■職員研修・蔵書整理のための作業場所・資料の一時保管場所として活用した。